

第3学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
教科書	美術2・3(光村図書)
副教材	美術資料(秀学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ ・授業の様子や発言内容 ・ワークシート等への記述内容 ・作品 ・テスト(小テスト・実技テスト・定期テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ ・授業の様子や発言内容 ・ワークシート等への記述内容 ・作品 ・テスト(小テスト・実技テスト・定期テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ ・授業の様子や発言内容 ・ワークシート等への記述内容 ・作品 ・テスト(小テスト・実技テスト・定期テスト)

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 ・主題を考え、1・2年生までに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 ・主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 ・作品について感じたことを積極的に話し合ひましょう。 ・鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 ・いつも見ているもの、身近なものでも見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ことをしてみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学期	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美を探し求めて ・夢をかたちにするデザイン <p>○私との対話（絵画）</p> <p>「自画像」</p> <p>○あの日を忘れない（鑑賞）</p> <p>「ゲルニカ」鑑賞</p> <p>「ピカソの表現」</p>	<p>3年生の美術科での学習内容を知り、3年間のまとめとしてどのようなものを制作していくか、これからの学習の見通しをもつ。</p> <p>自分の姿や心の中を見つめて考えたこと、将来の夢などから主題を生み出し、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して、創造的に絵で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめることで、自分の気持ちや性格、夢や思い出などについて考え、主題を生み出す。 ・主題を基に構図、色彩などを考え、自画像の構想を練る。 ・材料や用具表現方法を工夫して表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の思いや意図、表現の工夫をなどについて考えを深める。 <p>作品鑑賞をし、作者が後世に残したメッセージ性の強さを感じ取り、社会における美術の力などについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物の組み合わせ、構図や色彩などに着目し、印象などを捉える。 ・造形的な良さ、作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫、社会における美術の力について考え鑑賞する。 ・絵に込められた作者の訴えたいことに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組む。
2 学期	<p>○心がほっと和むもの（工芸）</p> <p>「ペーパーウエイト」</p>	<p>形や色彩、材料の性質や効果に着目し、遊び心など生かして使う人を楽しませる作品を制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使う目的や条件、使いやすさや遊び心形や色などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・使う人のことを考えたものをデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組む。 ・材料や用具の特性を生かし、見通しをもって制作する。
3 学期	<p>自分へ贈る卒業記念品（工芸）</p> <p>「堆朱キーホルダー」</p>	<p>自分らしい主題を考え、材料・構造・加工方法などの展開のある面白さを楽しみ、自分の成長を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料などに着目し、意図や効果などを捉えて見通しをもって表す。 ・友だちの作品を鑑賞し、その思いや意図、表現の工夫を感じ取り、話し合う。